みやぎ仙南サイクルツーリズム・専用サイトの考え方について①

各市町のｻｲｸﾘﾝｸﾞ情報(ｲﾍﾞﾝﾄ･ﾏｯﾌﾟ等)送付 ⇒ 大河原町　　　　　**みやぎ仙南ｻｲ**

サイクリストの投稿　　　　　　　　　 ⇒ 事務局で　　　　　**ｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ専用**

サイクルツーリズム・リンク集　　　　　⇒ 編集　　　　　　　**サイトに反映**

※みやぎ仙南サイクルツーリズムで検索すると専用サイトにつながる

※各市町ホームページの観光ページにみやぎ仙南サイクルツーリズムをリンク

***上記の専用サイトの運営イメージについて、以下制作の仕方でどれが望ましいか。***

ケース１

大河原町公式ホームページ内に仙南サイクルツーリズムのサイトを作成する

現在、大河原町ＨＰは行政ページ（トップページ）と観光サイトの２種類で運営しています。３つ目のサイトとしてみやぎ仙南サイクルツーリズムを新規作成する手法。

メリット　別サイトによる自由なレイアウト、色合い、表現ができる。作成は大河原町ＨＰ作成業者に委託、ＨＰの信頼性やアクセシビリティに配慮される。

デメリット　別サイトで新たなレイアウトで作成するため作成費用が200万円程度かかる。大河原町ＨＰ内に作成するので、補助金等が該当不可となる可能性が高い。

ケース２

大河原町公式ホームページ内の情報として掲載する方法

つまり、大河原町ＨＰの観光サイトの１ページとして作成する手法。

メリット　大河原町職員が作成し、アップするため作成費用が安価（投稿等の設定、管理者が内容を確認してアップする等）。セキュリティやアクセシビリティにおいて町ＨＰ同様の信頼性がある。

デメリット　大河原町ＨＰ内で作成するため、レイアウト等が変更できない。ヘッダー、フッターなど大河原町ＨＰ統一デザインの原稿欄に作成するため、仙南のページに受け取られにくい。

ケース３

外部に、みやぎ仙南サイクルツーリズムの専用サイトを新たに作成する

メリット　新たに立ち上げるためデザイン、色合いなど構成が自由にできる。大河原町内業者に新たなＨＰ制作を委託すると、ケース１より安価で50万円程度で制作できる。

デメリット　ケース１よりＨＰ制作は安価であるが、ネットワーク使用料やセキリティ等ランニングコストは継続的にかかる。

みやぎ仙南サイクルツーリズム・専用サイトの考え方について②

ＨＰ部門

各市町のｻｲｸﾘﾝｸﾞ情報　　　大河原町　　　　宮城DMO　　　　　**みやぎｻｲｸﾙ**

(ｲﾍﾞﾝﾄ･ﾏｯﾌﾟ等)送付 ⇒　 事務局で　　　　事務局で　　　　　**ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑHP**

ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ・ﾘﾝｸ集　 ⇒ 　集約　　　　　　編集　　　　　　　**内のみやぎ仙南**

**ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑの**

**サイトに反映**

※みやぎ仙南サイクルツーリズムで検索すると専用サイトにつながる

※各市町ホームページの観光ページにみやぎ仙南サイクルツーリズムをリンク

***DMOの既存サイトを活用させていただいて仙南地域の情報を発信、及びサイクリストからの情報やイベント情報等はフェイスブックで情報発信する場合***

ケース４

宮城インバウンドDMOのHP「みやぎサイクルプラットフォーム」内にみやぎ仙南サイクルツーリズ

ムサイトを追加する

検索名称：Miyagi Cycle Platform　 https://japancycling.jp/

メリット　サイクリングに関する情報の集約サイトとして多く閲覧される。多言語化されている。追加サイトについて東北観光復興対策交付金で対応可能。経費があっても少額。

デメリット　各市町の情報発信及びサイクリスト投稿等のHP掲載がDMO事務局の編集対応になるので、本作業部会との連携・調整が取りづらい。

＋

ＳＮＳ部門

大河原町事務局でフェイスブックを開設し、情報交流を促す

　　　　　　　　　　　　　　　　　　大河原町事務局

サイクリストからの投稿等⇒　フェイスブックを　　←イベント参加者募集、イベント終了等情報掲載

　　　　　　　　　　　　　　　　　　随時更新